

見学したお城【群馬県】

< 1 > 沼田城【群馬県沼田市】（2002年7月）



【沼田城】沼田氏によって築城されたが、上杉氏、武田氏、北条氏の諸勢力の争奪戦の的となってしまったお城。小田原征伐後は、真田信之が城主となり、真田のお城の印象が強くなった。その頃は関東で最大規模の天守があったらしい。現在は、沼田公園の中に、石垣の遺構、再建された鐘楼がある。

< 2 > 箕輪城【群馬県高崎市】（2018年3月）



【箕輪城】名城100選。在原業平の子孫長野業尚が築城。城主がいろいろと変わった城。真田幸隆、滝川一益、井伊直政らが城主にであった。現在、諸々の整備が進んでおり、駐車場もでき、広い城域もきれいに昔の遺構が整備されている。現在、郭馬出西虎口門が復元されている。

< 3 > 高崎城【群馬県高崎市】（2018年3月）



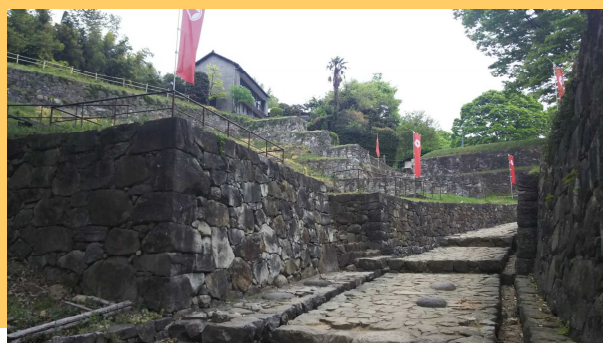
【高崎城】高崎駅から徒歩1分という市街地にある。井伊直政により築城されたと伝わる。現存する遺構は、三の丸外圍の土居と堀、乾櫓、東門のみ。乾櫓は、県内に現存する唯一の城郭建築だそうです。

< 4 > 前橋城【群馬県前橋市】（2018年4月）



【前橋城】厩橋城と言われてた。長尾景虎(後の上杉謙信)の関東進出の足がかりとなったお城。徳川家康にして『関東の華』と言わしめたと伝わる。前橋の中心地にあり、遺構は土塁の跡。少し離れた所に車橋門跡が残されている。

< 5 > 金山城【群馬県太田市】（2018年4月）



【金山城】名城100選。関東七名城の1つ。上杉謙信が5度攻めたが、落とせなかった名城らしい。駐車場から進むと、険しい山道となる。所々、案内板があるが、石垣、石敷、また地形を利用した山城らしい雰囲気がある。少し覗こうかと思ったが、じっさいには、かなり見応えがある城址だった。

< 6 > 松井田城【群馬県安中市】(2018年5月)登山入口まで



【松井田城】北条氏家臣の大道寺家のお城。国道から案内板が出ていたので行ってみた。山道に入って、案内板『松井田城址入口』は見かけるが、山を登っていくと、道の上部に蜘蛛の巣が・・・車を停める場所(Uターンする場所)もあるのか不安だったので、途中で引き返した。後で、調べてみると、もう少し上がれば、いろいろあったみたい・・・残念。

< 7 > 岩櫃城【群馬県吾妻郡東吾妻町】(2018年11月)



【岩櫃城】真田家のお城。武田家が滅亡する際に、真田昌幸が武田勝頼を岩櫃城に迎えようとした山城である。岩櫃山をどんどん登っていくと、中腹に本丸跡がある。こんな場所にお城があったら、攻め落とすことは困難でしょう。

駐車場脇に観光案内所があり、諸々の資料がおいてあった。

< 8 > 蒼海城【群馬県前橋市】（2018年12月）



【蒼海城】総社神社の境内に大きな看板がある。実際、お城の遺構はほとんど残っていないようだった。

< 9 > 小川城【群馬県みなかみ市】（2019年2月）



【小川城】上毛高原駅から徒歩3分という場所にあるというので行ってみた。沼田城の支城として造られたらしい。道路で本丸と二の丸等とが分裂されていた。本丸側には、堀の遺構が残っており、狭いながらも山城の雰囲気を感じられた。

< 10 > 名胡桃城【群馬県みなかみ市】（2019年2月）



【名胡桃城】続名城100選。豊臣秀吉が天下統一をする為に関東の北条氏を攻めた(小田原征伐)。そのきっかけとなったのが真田氏の重臣・鈴木主水が守る名胡桃城を北条氏が攻めたことである。実際にお城としては10年程で廃城になったらしい。

現在は、お城の敷地の大部分が残っており、きれいに整備されている。案内板も設置されており、見学しやすい。

< 1 1 > 館林城【群馬県館林市】(2020年1月)



【館林城・尾曳城】築城時期・築城者ははっきりしていない。室町時代1471年に攻城されたという文献が残っているそうだ。小田原北条氏も支配していたが、江戸時代になり榊原康正が近代的なお城に造り替えた。本丸には三層の天守があり大きなお城であったようだが、大半は明治7年に焼失。現在は、土塁の一部が残っているのみで土橋門が復元されている。

